

アジアの未来を拓くファイナンシャル・グループ

日本、韓国、モンゴル、そして東南アジアへ。

Jトラストは、総合金融サービスを通じて新たな価値を創造し、アジアの経済発展に貢献していきます。

企業理念・行動理念

企業理念

**お客様のため、株主様のため、私たち自身のため、
いかなるときも迅速に、誠実にチャレンジし続け、
皆様とともに世界の未来を創造します。**

Jトラストは、上記の「企業理念」の実現に向けて、以下のことを推進してまいります。

1. お客様、株主の皆様、お取引先等、全てのステークホルダーをお客様と考え、その期待に応えるため、「お客様第一」の行動を実行してまいります。
2. 様々な事象に対し「迅速」に対応するとともに、現状に満足することなく「創意工夫・改善」を実行してまいります。
3. 「適時且つ正確な情報開示」を実行するとともに、業務執行にあたっては「高い倫理観」を持って取り組んでまいります。
4. 「新たなサービスや価値観を創造・提供」し、経済の発展に貢献してまいります。

行動理念

行動理念は、Jトラストの英文字の6つで構成されています。

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 『J』 = 「Justice」 | 公正な企業経営を行います。 |
| 『T』 = 「Teamwork」 | 経営の根幹である「人」の個性を活かした組織を作ります。 |
| 『R』 = 「Revolution」 | 常に革新志向で価値創造を行います。 |
| 『U』 = 「Uniqueness」 | 当社の独自性を大切にします。 |
| 『S』 = 「Safety」 | お客様、ステークホルダーの皆様に安心いただけるよう努めます。 |
| 『T』 = 「Thankfulness」 | 感謝の気持ちを忘れません。 |



CONTENTS

JTラストグループ成長の軌跡	2
Jラストグループの成長を支える強み	4
ステークホルダーの皆様へ.....	10
特集: JTラストグループの持続的成長を支える強固な収益基盤 ...	18
日本金融事業	22
韓国及びモンゴル金融事業	24
東南アジア金融事業.....	26
非金融事業.....	28
サステナビリティ・ハイライト.....	29
10年間の連結財務ハイライト	42
連結財務諸表	44
主要子会社の財政状態計算書.....	48
主要子会社の損益計算書	50
会社情報／投資家情報.....	52

将来の見通しに関する注記事項

当アニュアルレポートの記述には、JTラストグループの将来の業績等に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいており、潜在リスクや不確実性が含まれています。実際の業績等は、経済の動向、当社を取り巻く環境等様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おさください。

Jトラストグループ成長の軌跡

Jトラストグループは、日本で培った審査力・回収力・マーケティング力などを強みに、アジアにおいて積極的なM&Aを推進することで、総合金融グループとして着実な成長を遂げてきました。韓国およびインドネシアでは、銀行・ノンバンク・サービサーによる総合金融サービスを提供する事業基盤を構築したほか、モンゴルで金融業務を、カンボジアでは銀行業務を展開しています。

Jトラストグループ 総資産の推移

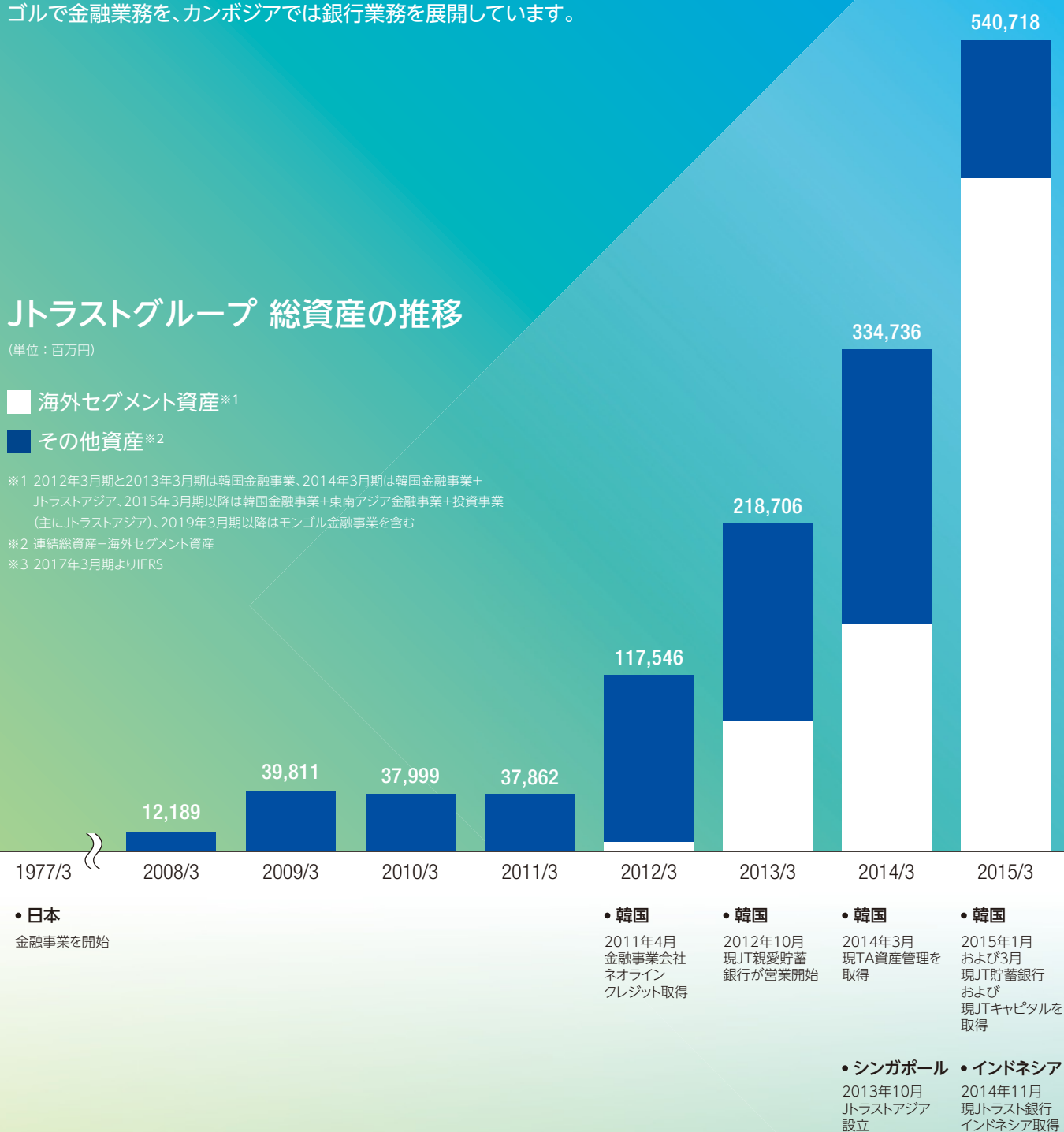
(単位：百万円)

- 海外セグメント資産※1
- その他資産※2

※1 2012年3月期と2013年3月期は韓国金融事業、2014年3月期は韓国金融事業+Jトラストアジア、2015年3月期以降は韓国金融事業+東南アジア金融事業+投資事業(主にJトラストアジア)、2019年3月期以降はモンゴル金融事業を含む

※2 連結総資産-海外セグメント資産

※3 2017年3月期よりIFRS



• 日本
金融事業を開始

• 韓国
2011年4月
金融事業会社
ネオライン
クレジット取得

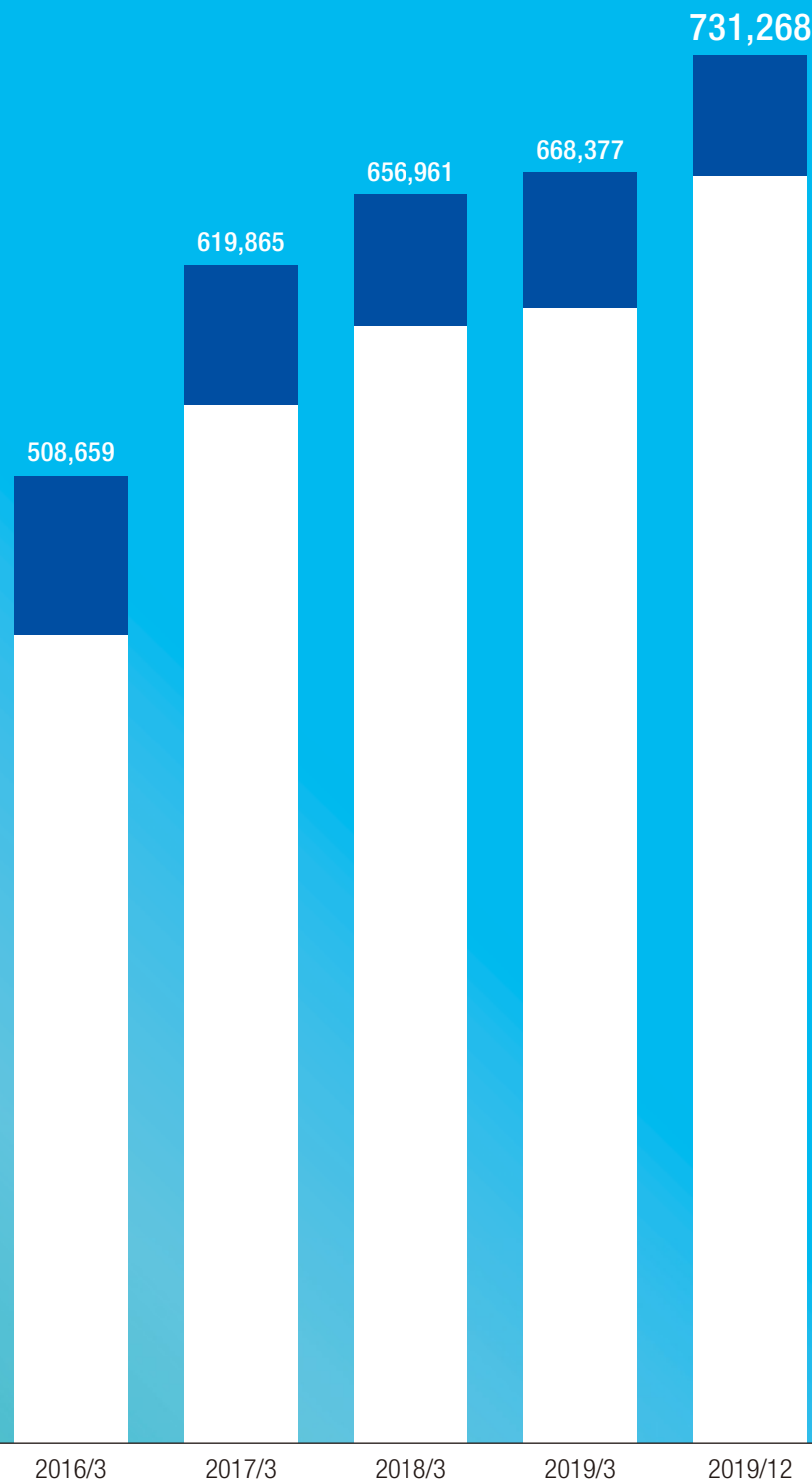
• 韓国
2012年10月
現JT親愛貯蓄
銀行が営業開始

• 韓国
2014年3月
現TA資産管理を
取得

• 韓国
2015年1月
および3月
現JT貯蓄銀行
および
現JTキャピタルを
取得

• シンガポール
2013年10月
Jトラストアジア
設立

• インドネシア
2014年11月
現Jトラスト銀行
インドネシア取得



• **インドネシア**
 2015年6月
 サービサー
 Jトラスト
 インベストメンツ
 インドネシア設立

• **モンゴル**
 2018年5月
 ファイナンス事業会社
 現Jトラストクレジット
 NBFII取得

• **インドネシア**
 2018年10月
 マルチファイナンス会社
 現Jトラストオリンピンド
 マルチファイナンス取得

• **カンボジア**
 2019年8月
 現Jトラストロイヤル
 銀行取得

Jトラストグループの成長を支える強み

1 金融事業における専門性の高いノウハウと人材

2 積極的なM&Aにより拡充した事業基盤

3 景気の変動に左右されない金融ビジネスモデルで安定的な成長を実現

金融事業における専門性の高い ノウハウと人材

金融事業における経験とノウハウを保有している人材が豊富であることが当社グループの強みです。1977年の創業以降、日本において金融ノウハウを蓄積してきたほか、様々なリテールファイナンスの会社をM&Aで獲得したことにより、特にリテールファイナンスに習熟した人材が加わりました。

そのノウハウを持った人材をアジア各地に派遣し、現地企業のM&Aを通じて現地マーケットとのシナジーを発揮することで、さらに専門性を高めています。

日本で培った金融のノウハウを活かして、地域経済の発展に貢献する付加価値の高いサービスを提供

日本金融事業

独自の不動産担保ローン審査力・新商品開発力と高水準のIRR

■ 即日完売のクラウドファンディング商品

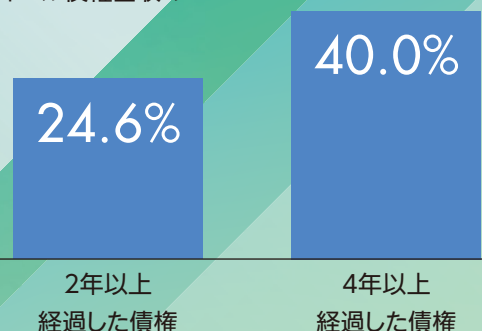
不動産担保ローンについての独自の審査力と市場ニーズに合わせた、オーダーメイド型商品の開発力が強みです。日本保証の保証した不動産担保型保証会社付きファンドはほとんどが即日完売となりました。



■ 債権回収において高いIRRを維持

パルティール債権回収のIRRは、M&Aによるノウハウの蓄積などもあり、2年以上経過している債権全体では24.6%、4年以上経過した債権に限れば40.0%と高い水準を維持しています(2020年3月末時点)。

パルティール債権回収のIRR

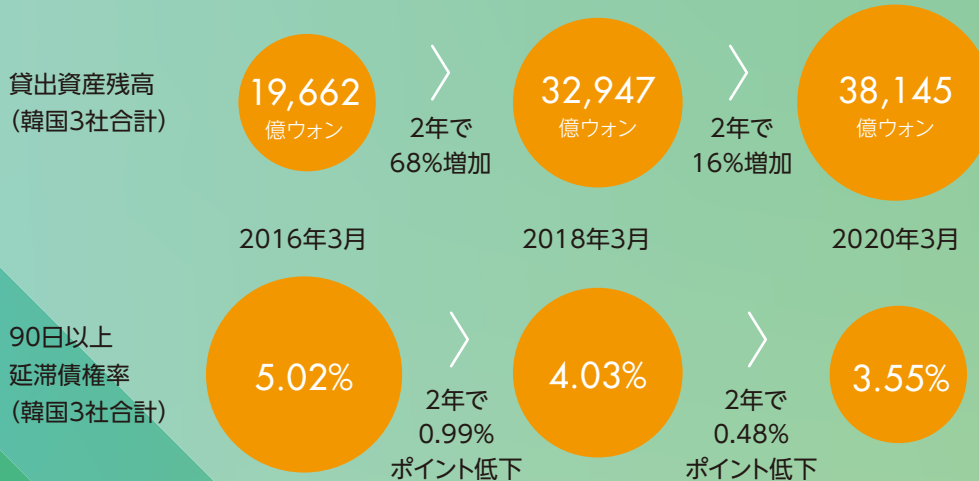


韓国及びモンゴル金融事業

政策の方向を先取りした経営戦略

延滞債権率を適切にコントロール

日本の経験を基に、韓国においても法定上限金利の引き下げと総量規制などが続くと予想し、政策の方向を先取りした経営戦略を実施してきました。ここ2年ほどは量の拡大より質の向上を重視したことから、貸出資産残高の伸びは緩やかとなったものの、90日以上延滞債権率は低位で安定しています。



東南アジア金融事業

リテールファイナンスのノウハウを活用し顧客を開拓

個人向けモバイルバンキングサービスを開始(インドネシア)

Jトラスト銀行インドネシアでは、2019年8月に個人向けモバイルバンキングサービスを開始しました。2018年の新規口座開設数は月平均で約500件でしたが、2019年には約900件に増加しています。

月次口座開設数



農機具ファイナンスで貸付残高増加

Jトラストオリンピンドマルチファイナンスでは、2018年7月以降、KUBOTA、YANMAR、ISEKIなど世界有数の農機具ブランドを扱うディーラーとの業務提携を進めてきました。農機具ローンのマーケットリーダーとしての地位を確立し、2020年5月には農機具ローンの販売台数が1,000台に、貸付残高は2,103億ルピアに到達しました。



積極的なM&Aにより拡充した事業基盤

Jトラストグループは、持続的な事業拡大を期待できるアジアの銀行業やファイナンス事業を中心に積極的にM&Aを行ってきました。

各拠点においては、コンプライアンスやガバナンスを第一に考えた経営を主軸においており、お客様に付加価値の高い金融サービスを提供できる事業基盤が当社グループの成長を支える強みといえます。

今後も大きな経済成長が期待できるアジアにおいて事業を拡大するとともに、そのネットワーク化によるシナジー効果を最大限発揮できる事業展開を図ります。



連結子会社数

1社
2008年3月

▶

37社
2019年12月



従業員数

81名
2008年3月

▶

4,322名
2019年12月

保証会社

クレジットカード

サービス

JAPAN

日本

創業以来40年間培った審査力・回収力・マーケティング力を強みに、安定した収益基盤を構築。

銀行

ノンバンク

サービス

SOUTH KOREA

韓国

日本で培った強みを活かし、韓国市場に2011年に参入し、銀行、リース・割賦、サービスの三位一体の総合金融事業を確立。

ノンバンク

MONGOLIA

モンゴル

モンゴル金融市場の成長を事業機会と捉え、2018年に参入。

銀行

CAMBODIA

カンボジア

経済成長著しいカンボジアにおいて、2019年より銀行業務に参入。

投資拠点

SINGAPORE

シンガポール

主にアジアにおける投資事業と投資先の経営支援を行う。2013年にシンガポールの拠点を設立。

銀行

ノンバンク

サービス

INDONESIA

インドネシア

ASEAN最大の人口を持つインドネシアを潜在成長力の高い市場と捉え、2014年に参入。銀行、マルチファイナンス、サービスの三位一体の事業基盤を確立。

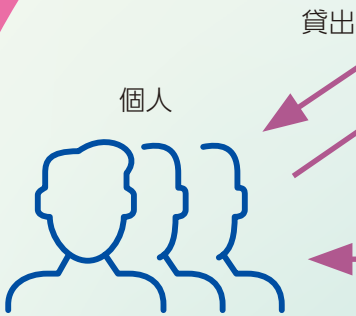
景気の変動に左右されない金融ビジネスモデルで安定的な成長を実現

Jトラストグループは、銀行・ノンバンク・サービサーが三位一体となった金融事業を展開することにより、好況・不況に関わらず安定した利益を創出できるビジネスモデルを構築しています。

好況時には、資金需要が高まり、貸出の増加、貸出金利の上昇、不良債権の減少による延滞率の減少などが見込まれることから、銀行とノンバンク事業には追い風となります。

一方、不況時には、不良債権が増加し、比較的安価で市場に流通するので、債権買収の好機となります。当社グループは、日本で培った高い審査力・回収力をもとに、韓国や東南アジアにおいても不良債権を購入し、着実に回収または売却することで利益を創出しています。

ジョイント
ファイナンスの組成



各種ローンの提供
・オートローン
・農機具ファイナンス
など

好況時に利益創出

ノンバンク事業 [貸付・保証等]

自動車や農機具等のマルチファイナンスをはじめ、各種ローン保証、クレジットサービスなど、お客様の多様なニーズに応える付加価値の高い金融サービスを提供しています。

主要グループ会社

- 日本保証
- Jトラストカード
- JTキャピタル (韓国)
- J TRUST OLYMPINDO Multi Finance (インドネシア)
- J TRUST CREDIT NBF (モンゴル)

回収ノウハウの
共有

好況時に利益創出

銀行業

[資金調達と貸出]

多彩なファイナンスサービスを提供することで、地域の経済発展に貢献しています。

主要グループ会社

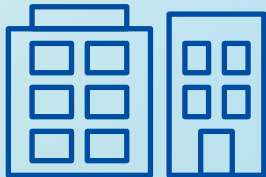
- JT 親愛貯蓄銀行 (韓国)
- JT 貯蓄銀行 (韓国)
- J TRUST BANK (インドネシア)
- J Trust Royal Bank (カンボジア)

預金

貸出

預金

法人



債権の回収

不良債権の売却

不況時に利益創出

サービス事業

[債権回収]

長年日本で培ったノウハウをもとに、韓国やインドネシアにおける債権回収業界においても、高いプレゼンスを維持しています。

主要グループ会社

PARTIR

TAAsset (韓国)
TA Asset Management

J TRUST INVESTMENTS
Indonesia
(インドネシア)